203.

放射線情報データ提供ソフトについて

A Software of Radiologic Information for the General Public

神奈川県立こども医療センター

○日置 稔
(MINORI ELOKI)

北里大学東病院

富塚芳憲

(YOSHINORI TOMIZUKA)

相模原協同病院

松本好正

東海大学医学部付属病院

藤田 昭

(YOSHIMASA MASTUMOTO)

(AKIRA FUJITA)

大和市立病院

山野 衛
(MAMORU YAMANO)

横浜市立大学医学部付属病院

寺廻信明
(NOBUAKI TERAMAWARI)

【目的】一般人を対象として医療放射線について理解を深めるためのソフトを制作し評価を行う。

【方法】1993年に制作し、神奈川県下で配布したPC-98・MS-DOS版「放射線の知識(ハイパーテキスト形式)」を基に「放射線の知識 for Windows」を制作した。

【使用機器】software: MULTIMEDIA Tool Book 3.0, Premiere 4.0J (VTR)、ドキュメント・メーカー V.1.5 (音声)

VTR DATA: 「身の周りの放射線」(北里大学東病院(1993))

hardware: PC9821Ap2+34M+1G (HDD)、Power Capture (VTR用)、MK230FS (MOドライブ)

【結果】前回はMS-DOS上のハイパーテキストで制作したため、文章データが主体であった。今回はMS-Windows上で制作することで、画像・音声が多用でき内容が理解しやすくなった。また、容量が多くなったため媒体は、MOを採用した。

ソフトは『放射線について』『X線検査について』『X線検査「Q&A」』『医療ひばく』の4つのパートから構成されている。操作はすべてマウスでおこなう。一部のデータについては音声データやビデオデータが組み込まれている。音声データについては合成音を取り込み、音声ボタンをクリックして再生する。『X線検査「Q&A」』のパートにはビデオ画像を使用した、医師による解説も含まれている。以下に内容の一部を示す。

『放射線について』

は[放射線][放射能][放射線の単位]
[放射線の種類][放射線の性質]
[放射線の影響][身の周りの放射線]
の7のパートで構成されている。
[身の周りの放射線(ビデオ画面)]
画面を示す。

『X線検査について』

は[X線検査の説明]
[X線検査での注意事項]の
2つのパートで構成されている。
[X線検査での注意事項]のなかの
[脱衣について]
[金具のあるX線写真]を示す。

『X線検査「Q&A」』

は代表的な6つの質問と
[医師による解説]および
[その他「Q&A集」]の
8つのパートで構成されている。
[医師による解説(ビデオ)]
画面を示す。

『医療ひばく』

は[X線検査でのひばく線量の表示]
[資料集]の2つのパートで
構成されている。
[資料集]にはICRP90年勧告
も含まれている。
[X線検査でのひばく線量の表示]
画面を示す。

【考察】前回のソフトについては、「説明文が長い」、「文字が細かい」、「カラーイラストを使用してほしい」等の要望が寄せられていたが、Windows版としたことでこれらの点については解消できたと思われる。

しかし、内容の表現方法についてはさらに工夫が必要と考えられる。最新資料を追加しながら更新していきたい。